

第2期「綾町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けた考え方 (2020~2024年度)

国

第1期での地方創生について、「継続を力」にし、より一層充実・強化。「長期ビジョン」の下に、「総合戦略」を実行する現行の枠組みを維持。
(まち・ひと・しごと創生基本方針2019)
※2019.6 基本方針策定、2020.12 総合戦略を策定(改訂)予定

長期ビジョン：2060年までの中長期的展望(約1億人を維持)
現在の人口等の見通しは、第1期の当初推計と大きな乖離なし。
時点修正などの変更にとどめる予定。

総合戦略：2020~2024年度(5年間)の基本目標や施策

<4つの基本目標>

- ① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆従来の枠組みを維持
- ◆必要な強化
 - ② 地方への新しいひとの流れをつくる
 - ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ◆新たな視点
 - ・地方へのひと・資金の流れを強化する「関係人口」の創出・拡大 など
 - ・新しい時代の流れを力にする Society5.0、SDGs など
 - ・人材を育て活かす
 - ・民間と協働する
 - ・誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ・地域経営の視点で取り組む

<地方創生版・三本の矢(地方創生に向けた多様な支援)>

- ① 情報支援(地域経済分析システムなど)
- ② 人材支援(地方創生人材支援制度など)
- ③ 財政支援(地方創生関係交付金など)

- ◆従来の枠組みを維持
- ◆地方創生関係交付金の必要な見直し

<「地方版総合戦略」の策定にあたって>

- ・策定プロセス等の重要性(地域の特性、多様な主体の参画など)
- ・行政区域を越えた広域的な連携を考慮
- ・効果検証の重要性(現行の進捗をKPIの達成度などにより検証)
- ・手引きの活用 など

綾町

(綾町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を踏まえ、地方創生の実現に向け、引き続き、切れ目ない取組を推進。

第1期計画の枠組みを基本とし、必要な改訂を行うイメージ。

人口ビジョン：将来推計人口や目指すべき方向性
2015年に国から配付された将来人口推計ツール(2015年国勢調査を基礎)を活用し、2018年10月1日現在の現住人口を基準とした将来推計人口を採用。

第2期総合戦略：基本目標や施策

<基本方針>

自然と共に生き、人と共に生きるまち、綾
～あらゆる生命がかがやくまち みんなで創る 日本のふるさと 綾～

<基本的な考え方>

- ・若年層を中心とした転出者の抑制と移住、定住者の確保、出生率の向上を図る。
- ・超高齢化社会・人口減少社会を想定した社会保障制度や福祉・教育の充実を図り、近隣市町と連携したコンパクトで使いやすい、効率的かつ効果的な社会基盤の構築を目指す。

現行の考え方を維持しつつ、国の新たな視点などを踏まえ、見直しを行う。

- ・「SDGs」の推進
- ・「関係人口」の創出・拡大
- ・「Society5.0」に向けた技術の活用 など

<体系>

- ・4つの基本目標
 - I 良好な生活機能を確保する
 - II 良好な就業環境を確保する
 - III 魅力ある価値を創造する
 - IV 地域特性に合った社会基盤を確保する

現行の体系を維持。

- ・7つの重点項目
 - 1 子育て支援の充実
 - 2 医療・福祉の充実
 - 3 居住環境の充実
 - 4 人材の育成
 - 5 雇用の場の創出
 - 6 ブランド力の向上
 - 7 地域公共交通網の構築とインフラの維持・整備

個別施策について、
・国の新たな視点等を踏まえた基本的な考え方
・第1期計画の評価・検証などを踏まえ、見直しを検討。

・37の主要施策

※「みやざき共創都市圏ビジョン」との一体的な推進が前提。

みやざき共創都市圏

